

正福寺報

平成 29 年正月号

臨濟宗 円覚寺派
住職 松原 行樹
TEL 045-811-3800
FAX 045-811-6304
shouhukuji@nifty.com

〒245-0053 横浜市戸塚区上矢部町 3 4 0

<http://shouhukuji.com/>

いのちの使い方

正福寺住職 松原 行樹ぎょうじゆ

『仏教聖典』に、

「すべてのものは関係して成り立ち、互いによりあつて存在するものであり、ひとりで成り立つものではない」とあります。

よく、「一人では生きられない」という言葉を耳にします。いま、ご自分の周囲を見渡してみてください。着ている洋服、作った食事、座っている椅子やテーブル、住んでいる家、ノートや鉛筆にいたるまで、自分以外のどなたかがつくったものです。

ご飯一つにしても、炊いたご飯が自分の口の中に入るまでに、いったいどれだけ多くの手が加わって、ここまでできたのでしょうか。

そう考えると、多くの関わり合い

の中で生きていくことを実感して、感謝のところが芽生えるでしょう。

関わり合いの中で、私たちは網の目のようなものではないでしょうか。私たちは網の目の一つです。しかし、その網の目というものは、周りの網の目と関わり合つて存在しています。無数の網の目によって私たちは一つの網の目ができるのです。

ですから、自分の都合で生きていくのではなく、自分の都合を離れて、網の目のように、周りの力によって生かされて生き、そして自分も他を生かしていかなければならないのではないのでしょうか。

いただいた、たった一つの「いのち」。生かされていることに感謝するだけにとどまらず、周りのいのちを生かしていく、そんないのちの使い方をしていきたいものです。